

琵琶湖・森林・防災対策特別委員会

1 開催日時 令和8年5月25日（月） 10時02分～11時47分

2 開催場所 第一委員会室

3 説明員 知事公室長、琵琶湖環境部長および関係職員

4 議事の概要

(1) 付議事件に係る関係部局の取組について

①マザーレイクゴールズ（MLGs）の取組状況について

委員からは、MLGsの認知度向上に向けて、日常生活の中で単語が目に入るような仕組みづくりに部局横断で取り組んでもらいたい、年齢が上がるほどMLGsに対する理解力も上がるので、高等学校での学習も強化するべきであるなどの意見が出された。

②森林づくりに係る施策の取組状況について

委員からは、放置林については、県、市町、森林組合、地権者が協働で整備に取り組んでもらいたい、県産材の活用については、中東情勢の影響により接着剤等が不足することも想定しながら進めてほしい、今後も林業先進国であるオーストリアとの交流を促進し、若者や林業に関心のある方が交流できる仕組みを検討してほしいなどの意見が出された。

③滋賀県の防災教育について

委員からは、避難計画は建物の立地等により異なるので、一人一人が自分の取るべき行動を考えることが重要である、動画なども活用し、被災地支援等の経験談を地域住民や子供たちに伝える工夫をしてほしいなどの意見が出された。

(2) 委員会の運営方針について

今年度の重点調査項目は、「森・里・川・琵琶湖をつなぐ環境保全対策の推進について」「県民と共に進める防災対策の推進について」の2項目とされた。

運営方針については、「執行部から説明を求めるほか、可能な限り、行政調査、県民参画委員会および参考人からの意見聴取等を実施することにより、多面的な調査を行う。」とされた。



委員会に配付された資料

資料1 マザーレイクゴールズ（MLGs）に係る取組状況について

資料2-1 森林づくりに係る施策の取組状況について

資料2-2 森林づくりに係る施策の取組状況について（参考資料）

資料3-1 滋賀県の防災教育について

資料3-2 滋賀県の防災教育について（参考資料）